

はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 令和3年度 活動報告書

当拠点は、ものづくり地域「はままつ」の高い技術力・開発力と、医療ニーズ・医学シーズとの異分野融合により、健康・医療産業の事業化を推進し、連鎖的・継続的な地域イノベーションの創出を目指して設立された。平成21年度（2009年）に科学技術振興機構（JST）「地域産学官共同研究拠点整備事業」の「構想支援地域」に採択され、先端医療開発特区課題の事業化及び関連技術のシーズ化などを、浜松地域の大学と企業が密接に連携して推進してきた。事業終了後も当事業への下記提案機関を中心に「ものづくり技術と医療・医学との融合による地域イノベーションの創出」を目指し、継続して活動を行っている。

【提案機関】

- 【産】 浜松商工会議所、（公財）浜松地域イノベーション推進機構
- 【学】 浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学
- 【官】 静岡県、浜松市

令和3年度も「事業計画」に基づいて以下の活動を行った。

1. 研究活動支援

1-1 大型機器他を活用した医工連携研究推進

「地域産学官共同研究拠点事業」終了後にJSTから無償譲渡を受け、浜松医科大学に設置（サイクロトロン、GMPホットセル等の装置・機器）および浜松工業技術支援センターに設置（各種加工用レーザー装置等）している装置類を引き続き有効活用した。（詳細はP8記載）

また、先端医療開発特区：スーパー特区（内閣府）『メディカルフォトンクスを基盤とするシーズの実用化開発』の課題（内視鏡手術用超音波診断装置、手術用立体内視鏡、レーザー血栓溶解装置、近赤外光マンモグラフィー装置、リンパ圧自動測定装置開発 等）に関しても必要な支援を行った。

1-2 国のプロジェクト等の実用化開発

地域関連で過去に国のプロジェクトで採択された以下の課題の終了後も拠点として必要な支援を行った。

- ・地域イノベーション・エコシステム形成プログラム（文部科学省）
手術用立体内視鏡開発および周辺機器（高色忠実度内視鏡カメラ等）開発 等
- ・革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）（文部科学省、JST）
ウェアラブル脳機能評価装置開発 等

2. 事業化・実用化ポテンシャルのあるシーズの医工連携での開発支援

2-1 実用化開発支援

○医工連携スタートアップ支援事業の対象課題の開発支援

令和2年度終了課題5件の採択企業（下記）をフォローアップ訪問して面談アドバイスを行った。各社ともに製品化に向けまた新たな公的資金の獲得に向けて開発を継続している。

- ・株式会社アメリオ：経カテーテル大動脈弁置換術における自動CT解析ソフトの開発

- ・ 仲山貴金属鍍金株式会社：医療機器向け純金めっきの物性評価
- ・ 有限会社コイケサイド：視覚障がい者用白杖及び歩行補助用杖・視認性の向上を目的とした機能杖開発
- ・ 株式会社共臨社：リハビリテーション対応「ベッドサイドテーブル」
- ・ 東海電子株式会社：ポータブル呼気回収デバイスの開発

○実用化開発支援

以下の課題につき情報収集・必要な開発支援を行った。

- ・ 股関節画像診断支援システム
- ・ リンパ圧自動測定装置
- ・ 高齢者の歩行訓練用具「e-foot」
- ・ 介護動作教育支援システム

2-2 プロトタイプ試作およびシーズ創成開発支援

○エキスパートシステム（AI）活用による

- ・ 医学教育・臨床研究データベース構築の検討
- ・ 事業化・コーディネータのデータベース構築の検討
- ・ 医療シーズ・ニーズデータベースの検討

○レーザー加工技術による医療用および医学研究用機材の製作

浜松工業技術支援センターと光産業創成大学院大学等との連携により、4つのテーマ設定（1. 金属・セラミックの3次元造形技術開発、2. 非熱的な生体の表面処理技術開発、3. 医療機器開発に向けた立体加熱手法・装置の開発、4. 微細加工による医用・医療材料開発）を行い、それぞれ以下の様に進めた。

まず、同拠点事業で整備したレーザー関連装置（レーザー加工装置、顕微鏡）も、医療・健康分野へ新たに進出を目指す地域の中小企業等に活用されている状況である。一層の活用を促進するため、装置を設置している浜松工業技術支援センターでは、企業からの技術相談に対応し、活用方法等の指導を行った。また、光産業創成大学院大学では、各種イベントや企業との連携の中において、医療・健康分野への応用提案や、各種案件に対して試験や事業化支援を行った。ここから進展のあった企業・大学に対して、今年度においては医療分野研究成果展開事業先端計測分析技術・機器開発プログラムへの採択（レーザー血管吻合技術・機構開発）（2年目）（1件）につながっている。

研究開発においては、光産業創成大学院大学金属・セラミックのレーザーによるAM（アディティブ・マニュファクチャリング～3次元造形）の関連技術開発（観測システムの構築、プロファイル評価機構の構築）、レーザー樹脂溶着・レーザー治療に向けたレーザー加熱端子開発（静岡県内2社・県外1大学）を継続して発展させている。また新規には、リンパ系の治療技術開発（レーザー溶着）により、戦略的基盤技術高度化支援事業の採択（県内企業1社、県内1大学）に至っている。浜松工業技術支援センターでは、従来の侵染法では染色が難しかったプラスチック素材（視力矯正用眼鏡レンズ）をレーザーで染色する装置のさらなる技術開発を進め、科学技術振興機構の研究成果展開事業A-STEPトライアウトに令和2年に採択され、令和3年も継続して行った。また、浜松工業技術支援センターと光産創大が地元企業に協力して製品化された「透明プラスチックのレーザーによるクリーンな溶着システム（ラバーテックスSV-120F）」を用いて医療器具製造のための応用技術を引き続き開発している。

2-3 国際化に向け開発・市場開拓支援

手術用立体外視鏡および周辺機器開発・内視鏡および周辺機器開発等に関して情報収集を行うとともに必要な開発支援を行った。

3. コーディネート活動

3-1 医工連携のワンストップ窓口の機能

- ・「技術相談」をはじめ、地域企業・関連機関との窓口業務
- ・浜松ウェルネス推進協議会への参画

3-2 医工連携推進、産学官金連携推進、事業化のためのコーディネート活動

○提案7機関（特に浜松商工会議所、浜松工業技術支援センター）との連携強化

浜松商工会議所医工連携研究会とは相互に連絡を取り合い、「はままつメディカル塾」や「医療現場との情報交換会」をはじめとしたイベントを共催し、地域企業を共に訪問するなどして連携を強化した。

浜松工業技術支援センターとは拠点事務局でセンターを訪問し、センターの分析機器の紹介を受けた。特にマイクロCTに関しては浜医大設置のMRI、CTの活用との連携を模索した。

○地域医療関連機関（聖隷福祉事業団、浜松医療センター等）との連携

令和3年12月に開催した「医療現場との情報交換会」において講師をお願いし、地域企業への現場の課題を報告いただいた。その後、参加企業からの依頼でセンターを訪問し、関係者と意見交換会を催し、連携の橋渡しを果たした。

○地域金融機関（浜松いわた信用金庫、静岡銀行等）との連携

- ・浜松いわた信用金庫が運営する浜松市中区に開設された「FUSE」を訪問し、情報交換を行うとともに、今後の活用施策を検討した。
- ・静岡銀行が企画・運営している「TECH BEAT Shizuoka」に参画し、情報交換を行った。

○地域大学・支援機関のコーディネータとの連携

- ・静岡大学イノベーション社会連携推進機構や光産業創成大学院大学と相互訪問して交流を図り、連携の強化を図った。
- ・光産業創成大学院大学のバイオフィotonicsデザイン分野への協力
「医療現場との情報交換会」に積極的に参加いただき、現場ニーズの共有を図るとともに、光産業創成大学院大学主催の「バイオフィotonicsデザイン公開講座」（全3回）に参加するなどして、連携を強化した。

3-3 企業訪問によるニーズ・シーズ発掘

○県西部を中心に「スタートアップ支援事業」のフォローアップとして令和2年度採択企業5社を訪問し、現状把握を行うとともに助言を行い、今後の開発の方向性を議論した。

○『大学等の研究シーズと企業のマッチング促進事業』（静岡県産業振興財団）

この事業はものづくり企業側の製品・技術から医療関係者へ製品・技術等の情報提供することを手始めにマッチングさせ、新たな製品開発に結びつけることを目的とした事業。

今回の事業は医療現場からのニーズをスタートとする従来とは逆に企業側から医療・介護現場への情報提供することによりマッチングを目指すものであり、当拠点としても協力している。

具体的には浜松医工連携研究会事務局の協力を得て、会員企業にアンケート調査を行い、回答を得た企業に対して説明会を開催するとともに、ご了解いただいた6社を財団コーディネータとともに訪問し、企業側のシーズ調査を行った。今後は浜松医大知財センターとの打合せを行った上で、浜医大医療・介護現場関係者へ情報提供を行い、マッチングに繋げていく予定である。

3-4 医工連携を支援するコーディネータ人材の養成

地域企業を対象とした「はままつメディカル塾（医療機器・薬機法関連セミナー）全5回」を開催し、154社193名の出席があった。

3-5 MEDIC 医療機器開発支援ネットワーク事業への参画

今年度は具体的な活動は行わなかった。

4. 事業化支援活動

4-1 医工連携スタートアップ支援事業

○医工連携スタートアップ支援事業

本拠点が公益財団法人静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業を受託し、医療や介護の現場の課題やニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するために、「アイデアの実現性の検証」を行う支援事業を平成24年度から毎年行っている。令和3年度は、5課題を採択した。2月に実施した「成果報告会」において成果の報告をいただくとともに、審査委員・アドバイザーとの質疑応答を経て、今後へのアドバイスをを行った。

令和3年度採択課題

- ① A社：高位脛骨弯曲骨切り術のための術前計画ソフトの開発
- ② S社：スマートフォンを活用した認知判断測定装置のハードウェア開発
- ③ M社：形状記憶マスクの医療用モデル開発
- ④ H社：光学系医療装置のアッセンブリまで対応可能な体制構築
- ⑤ N社：血栓回収ステントへの部分めっき技術の開発

この事業では、これまで計52件の開発案件を支援し、その後のフォローアップ（企業訪問等）を行うことにより、開発が継続され、約33%が他の公的資金を獲得している。また、製品化についても、9件を達成している。この事業は、企業の持つシーズ発掘にもつながっている。令和3年度の採択課題も、今後より大きな公的資金獲得・製品化に向けて、更に支援を継続する予定である。

また、令和2年度採択企業5社を訪問し、現状把握を行うとともに助言を行い、今後の開発の方向性を議論した。

4-2 主催・共催イベント等の開催

○メディカルイノベーションフォーラム

拠点の成果報告、情報発信のための中心的なイベントである「メディカルイノベーションフォーラム2021」を、令和4年2月4日に、基調講演「医療・ヘルスケアベンチャーに活かすデジタルヘルスの最新動向」（演者：加藤 浩晃様 デジタルハリウッド大学大学院 客員教授/アイリス株式会社 共同創業者・取締役副社長 CSO）をハイブリッド形式で開催した。

他に来賓：経済産業省ヘルスケア産業課長：稲邑拓馬様（経済産業省のヘルスケア関連の施策に関して）及び浜松市産業部次長・スタートアップ推進課長の江馬正信様（浜松市のスタートアップ支援策に関して）にご登壇いただいた。

○企業と医療・介護現場との情報交換会（詳細は P11. 12 記載）

現場医師・医療従事者による医療ニーズ・シーズの情報発信のための企業向け講演会であり、今年度はコロナ渦の厳しい情勢であったが、以下の2回開催した。

第1回 9月22日開催（完全オンライン形式）

講演テーマ

- ・「看護学科からの現場及び業務紹介」
- ・「脳神経外科からの現場及び業務紹介」

※終了後の交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第2回 12月14日（現地とオンライン形式のハイブリッド形式）

講演テーマ

- ・「リハビリテーションとケアにおける現状と課題」
- ・「地域包括支援センターの活動について」
- ・「光先端医学教育研究センターにおける研究及びニーズ紹介」

※終了後の交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、名刺交換のみ実施。

医療現場のニーズ・課題の発掘のため病院等の各診療科・部署見学による意見交換会を予定していたが、附属病院、地域医療・福祉関連機関ともに、コロナ対策のために中止した。

○学術研究会・勉強会・セミナー

- ・医療機器・薬機法関連セミナー「はままつメディカル塾(全5回)」
- ・共同研究・倫理セミナー

8月30日開催（完全オンライン形式）

- ・浜松医科大学で共同できるMRI/CTのご紹介」セミナー

10月18日（現地とオンライン形式のハイブリッド形式）

○医工連携出合いのサロン

本拠点が静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業で受託し、平成25年から毎年実施している事業である。非医療機器メーカーが、医学系学会に展示することは困難であるため、展示ブースをはままつ医工連携拠点が買い取ることにより、取りまとめて企業展示を行ってきた。また、医療機器関連の展示イベントを開催しても、実際に利用する臨床医・医療従事者は多忙であり、展示会場を訪れることはほとんどない。そこで、全国の臨床医・医療従事者が集まる医学系学会に附設する形で、静岡県内で開発された商品や技術を紹介する展示をし、PRを行ってきた。さらに臨床医・医療従事者から商品や技術に対する評価や意見などを直接聴取する機会を企業へ提供する。今回の学会では学会主催の医工連携ブースツアー（医療従事者が各社の企業の展示ブースを直接訪問し、企業の技術

を紹介アイデアなどの意見交換を行う)や拠点主催のブースツアー(他の医療機器メーカーの展示ブースを訪問し、企業を紹介するツアー)で橋渡し(面談)の場を提供できた。

令和3年度は「第34回日本内視鏡外科学会総会(令和3年12月2日～4日)神戸国際展示場」に出展し、5社の支援を行った。学会主催の医工連携企画「医工連携ブースツアー」には、出展5社に山本研究統括が同行し、他の医療機器メーカーの出展企業ブースを見学し出展企業にとって満足が得られた。

本拠点の周知活動を推進するために、本拠点の活動展示も行った。新型コロナウイルスの影響もあり、出展者・入場者ともに想定よりも少なかったが、静岡県内で開発された試作品や技術を紹介するとともに、医療従事者や医療機器メーカーから開発品に対する評価や意見などを直接聴取する機会となった。

令和3年度出展企業

- ・株式会社フジネット
- ・株式会社ナユタ
- ・株式会社アメリオ
- ・株式会社パパラボ
- ・株式会社美浜工業

4-3 大型装置共用促進事業

大型装置による撮影(使用)トライアルユース・デモ

浜松医大に設置してある臨床機器と同様の性能を持つ大型装置(X線CT、MRI)を用いて将来の活用の可能性を見据えて他機関からの要望により、トライアルユースを行っている。今年度は1件のトライアルユースを実施した。

4-4 事業化検討会議

事業化を検討する案件が出た場合、希望により医療機器製造販売の有識者を交えた検討会議を開催することになっているが、今年度は未開催。

4-5 健康医療関連団体との連携

一般社団法人日本医療機器工業会、静岡県製薬協会、中部医療機器工業協会等からのダイレクトメール、印刷物で情報収集し、必要に応じて関係者への周知を行った。

5. 広報活動

5-1 ホームページのリニューアル・管理・維持

昨年度、大幅にリニューアルした拠点のホームページをより利用してもらいやすくするとともに、事務局の効率も考慮して更なるリニューアルを行った。例えば、各種イベントの募集・返信・名簿の作成などが効率的に行えるようになった。また、情報発信を随時行った。

5-2 パンフレット・編集・増刷、配布

今年度はパンフレットの微修正を行い、印刷配布した。

5-3 展示会への出展等

【地域外】「Medtec Japan」に出展 4月14日～16日 東京ビッグサイト展示場

・令和3年4月14日～16日に開催された医療機器の設計・製造に関するアジア最大級の展示会であるMedtec Japan 2021（東京ビッグサイト）において、（公財）静岡県産業振興財団が取りまとめた静岡県ブースに、本拠点をはじめ静岡県内企業10社が出展。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人手は少なかったが、他の地域との情報交流を行った。

・「おおた研究・開発フェア」、「メディカルクリエーションふくしま」にはオンライン出展

【地域内】「産業振興フェア in いわた」に出展 11月12日～13日 磐田市アミューズ豊田

5-4 浜松医科大に設置している大型装置のトライアルユース・デモによるPR

5-5 活動報告書編集・発行

6. 他地域・海外との連携

6-1 他拠点との情報交換と連携事業の検討・実施

○静岡県東部(ファルマバレー)との連携事業の推進

コロナ渦の影響もあり、訪問はできなかったが、4月に開催されたMedtec Japanの会場で意見交換を行った。

○信州・浜松拠点間交流会議2021

毎年交互に訪問しあって開催している拠点間交流会議は、令和3年11月8日～9日、ホテルクラウンパレス浜松（浜松市）でオンライン併用のハイブリッド形式で開催した。第一部情報交換&活動報告が行われた。第二部スタートアップ企業成功事例の報告では2社の講演が行われた。翌日はヤマハイノベーションロード、花の舞酒造を訪問し、ものづくりへのこだわりの現場を見学した。2022年は信州で開催予定である。

○東九州メディカルバレー(大分県)来訪

令和3年10月19日 浜松医科大学医工連携拠点棟を訪問され、拠点長以下三役で意見交換した。

・コロナ渦の影響で他の機関・拠点との接触はできなかった。
(横浜市、横浜企業経営支援財団、千葉大学、鳥取大学)等

6-2 産学官連携ネットワークとの連携

日本医工ものづくりコモンズ（日本医工研究所）とWEB面談で情報収集を行った。

6-3 国際的な医療クラスターの情報収集

未実施。

7. 事務局活動

7-1 事業運営委員会開催

9項に記載の通り実施した。

7-2 事業運営委員会ワーキング会議(実務者会議)

9項に記載の通り実施した。

7-3 事務局会議・拠点企画会議

各々10回/年程度実施し、拠点内の情報共有・状況把握を行った。

7-4 事業活動報告書の作成

令和2年度事業活動報告書を拠点内及び関係機関の協力で作成した。

8. 活動実績のまとめ

令和3年度 研究機器使用実績					
	本拠点に設置された 機器の名称	回数(回)			設置場所
		累計	(有料)	(無料)	
1	PET/CT 装置	1,501	1,501	0	浜松医科大学
2	ピコ秒レーザー加工システム	15	7	8	浜松工業技術支援センター
3	ファイバーレーザー加工システム	22	1	21	浜松工業技術支援センター
4	半導体レーザーシステム	5	5	0	浜松工業技術支援センター
5	試料観察顕微鏡システム	126	51	75	浜松工業技術支援センター

	技術相談申込件数	その他相談時間
医療機器に関する相談数	4	6

	氏名	所属	種別 (医師、看護師、ME、 企業OB等)
講習について(講師)	夏目 貴弘	浜松医科大学 産学連携・知財活用センター	特任研究員
	山本 清二	浜松医科大学	理事・副学長
	佐藤 直美	浜松医科大学 臨床看護学講座 成人看護学	教授
	根木 宏明	浜松医科大学 脳神経外科学講座	助教
	長島 優	浜松医科大学 光先端医学教育研究センター フォトンクス医学研究部	教授
	上杉 治	聖隷福祉事業団浜松市リハビリテーション病院	作業療法士
	松山 美津代	聖隷福祉事業団 地域包括支援センター和合	所長
	蓑島 伸生	静岡大学 イノベーション社会連携推進機構	特任教授
	永田 靖	浜松地域新産業創出会議アドバイザー	企業
	加藤 浩晃	デジタルハリウッド大学大学院	客員教授
	江馬 正信	浜松市産業部	次長

9. 運営委員会等 会議開催状況

会議名称	開催日時	参加者	概要
事業運営委員会 2回			
第1回事業運営委員会	令和3年5月27日 13時30分～15時30分	委員8名 (代理2名) 計24名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告、収支決算報告 ・令和2年度会計監査報告 ・令和3年度修正予算(案) ・「共創の場形成支援プログラム」について
第2回事業運営委員会	令和4年3月23日 10時～12時	委員:9名 (代理2名) 計23名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業計画案について ・令和4年度予算案について ・浜松医科大学産学官連携実施法人化について
ワーキング会議 6回			
第78回ワーキング会議	令和3年4月20日 10時～11時	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度第2回事業運営委員会について ・健康医療講演会、医療・介護現場との情報交換会についての報告 他
第79回ワーキング会議	令和3年6月15日 10時～11時	21名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度第1回事業運営委員会について ・令和3年度スタートアップ支援事業について ・令和3年度出合いのサロンについて ・令和3年度医療機器・薬事法関連セミナーについて他
第80回ワーキング会議	令和3年9月21日 10時～11時	28名	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究・研究倫理セミナー、はままつメディカル塾について ・令和3年度医工連携出合いのサロンについて他
第81回ワーキング会議	令和3年11月16日 10時～11時	23名	<ul style="list-style-type: none"> ・MRI/CTセミナー、信州・浜松拠点間交流会議、産業振興フェア in いわたについて ・令和3年度医工連携出合いのサロンについて他
第82回ワーキング会議	令和4年1月18日 10時～11時	24名	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度医工連携出合いのサロン報告、はままつメディカル塾、医療・介護現場との情報交換会についての報告 ・メディカルイノベーションフォーラム 他
第83回ワーキング会議	令和4年3月15日 10時～11時	24名	<ul style="list-style-type: none"> ・メディカルイノベーションフォーラム/はままつメディカル塾アンケート結果、スタートアップ支援事業成果報告会について ・令和4年度事業計画/予算(案)について ・浜松医科大学産学連携外部法人化について

* 拠点内事務局ミーティングは1～2回/月にて随時開催した。

10. 外部資金獲得状況

共同研究 2 件

研究者所属機関	役職	研究者名	共同研究先	研究期間
光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	企業(浜松市)	2018年度～2021年度
浜松工業技術支援センター	上席研究員	山下 清光	企業(浜松市)	2021年度

受託研究 4 件

事業名 (委託機関等)	課題名・ プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	研究期間
研究成果展開事業 A-STEPトライアウト(科学技術振興機構)	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱方法の検討	浜松工業技術支援センター	科長	植田浩安	2020年1月～2021年10月
革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)(科学技術振興機構)	精神的価値が成長する感性イノベーション拠点	浜松医科大学	理事・副学長	山本清二	2013年度～2021年度
医療分野研究成果展開事業先端計測分析技術・機器開発プログラム	Collagen 嵌合現象を応用した Laser 組織接合システムの開発研究	光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	2020年度～2022年度
令和3年度中小企業経営支援対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)	極小径金属ステントおよび新規生体適合性ゲルを用いた重症リンパ浮腫に対する革新的治療機器開発	光産業創成大学院大学	准教授	沖原伸一郎	2021年度

補助金 1 件

事業名 (委託機関等)	課題名・ プロジェクト名	受託機関	役職	研究者名	研究期間
大学発ベンチャー事業化加速・推進事業(静岡県)	低侵襲で微細手術が行える新型立体外視鏡の開発と製品化	株式会社はままつメディカルソリューションズ(HaMS)	代表取締役	折本正樹	2021年6月～2022年3月

11. 実用化実績

製品化実績 1 件

研究者名	商品名	販売開始年月日	販売元企業名	商品情報 (URL 等)
山本 清二	手術用顕微鏡 HM-1000MS	2021 年 9 月 1 日届出 (2022 年 5 月販売予定)	株式会社はままつメディカルソリューションズ(HaMS)	

12. 普及活動

成果発表会・講演会・セミナー等イベント(人材育成関連は除く) 6 回(企業数 183 社、参加者数 361 名)			
セミナー「共同研究・研究倫理セミナー」 形式:オンライン(Zoom) テーマと講師: 『共同研究について』 浜松医科大学 理事(教育・産学連携担当)副学長 山本 清二 様 『研究倫理について』 静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 特任教授 光産業創成大学院大学 バイオフォトニクスデザイン分野 特任教授 葦島 伸生 様	令和 3 年 8 月 30 日	10 社 計 56 名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医工連携研究会全体会 場所:グランドホテル浜松 形式:オンライン(Zoom) 基調演説:コロナ禍で加速する医療 DX の最新動向 講師:日経 BP 日経デジタルヘルス編集長 河合 基伸 様 事例発表:医療研究現場に技術革新!世界初ロボットでマウス飼育 講師:グローバル・リンクス・テクノロジー株式会社	8 月 26 日	50 社 計 67 名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
医療現場との情報交換会 (浜松医科大学の医師から製品開発のヒントを得る) 形式:オンライン(Zoom) テーマと講師: 1.看護学科からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部 臨床看護学講座 成人看護学 教授 佐藤 直美 様 2.脳神経外科からの現場及び業務紹介 浜松医科大学医学部 脳神経外科学講座 助教 根木 宏明 様	9 月 22 日	29 社 計 53 名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ
セミナー「浜松医科大学で共同利用できる MRI/CT のご紹介」 場所:浜松医科大学 医工連携拠点棟 3 階 大会議室/ オンライン(Zoom) 講師:浜松医科大学 産学連携・知財活用推進センター 特任研究員 静岡医療科学専門学校 医学放射線学科 夏目 貴弘 様	10 月 18 日	14 社 計 34 名	対象者:企業関係者、研究者、コーディネータ

<p>医療現場との情報交換会 (浜松医科大学の医師から製品開発のヒントを得る) 場所: グランドホテル浜松 2階鳳西 及びオンライン(Zoom) テーマと講師:</p> <p>1. 『リハビリテーションとケアにおける現状と課題』 聖隷福祉事業団 浜松市リハビリテーション病院 作業療法士 係長 上杉 治 様</p> <p>2. 『地域包括支援センターの活動について』 聖隷福祉事業団 地域包括支援センター和合 所長 松山 美津代 様</p> <p>3. 『光先端医学教育研究センターにおける研究及びニーズ紹介』 浜松医科大学 光先端医学教育研究センター フोटニクス医学研究部 教授 長島 優 様</p>	12月14日	<p>会場: 25名 WEB: 38名 32社 計 63名</p>	対象者: 企業関係者、研究者、コーディネータ
<p>メディカルイノベーションフォーラム 2021 場所: クラウンパレスホテル浜松 芙蓉の間 A 及びオンライン(Zoom) 基調講演「医療・ヘルスケアベンチャーに活かすデジタルヘルスの最新動向」 講演者: デジタルハリウッド大学大学院 客員教授 アイリス株式会社共同創業者・取締役副社長 CSO 医師 加藤 浩晃 様</p>	令和4年 2月4日	<p>会場: 10名 WEB: 78名 48社 計 88名</p>	対象者: 企業関係者、研究者、コーディネータ

13. 人材育成

人材育成関連(講習会・研修会等) 5回(企業数 154社、参加者数 193名)			
会議名称	開催日時	参加者	概要
<p>はままつメディカル塾 第1回 わかりやすい医療機器と薬機法(入門編) 形式: オンライン(Zoom)のみ 講師: 浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 様</p>	令和3年 9月17日	<p>34社 計 44名</p>	対象者: 企業関係者、研究者、コーディネータ
<p>はままつメディカル塾 第2回 医療機器産業への参入の実際と課題及び業許可等 場所: アクトシティ浜松研修交流センター401 会議室/オンライン(Zoom)併用 講師: 浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 様</p>	10月8日	<p>会場: 16名 WEB: 25名 32社 計 41名</p>	対象者: 企業関係者、研究者、コーディネータ
<p>はままつメディカル塾 第3回 医療機器の品質マネジメントシステムとQMS 省令の構築 場所: アクトシティ浜松コングレスセンター43 会議室/オンライン(Zoom)併用 講師: 浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 様</p>	11月5日	<p>会場: 12名 WEB: 23名 29社 計 35名</p>	対象者: 企業関係者、研究者、コーディネータ

はままつメディカル塾 第4回 医療機器の開発におけるリスクマネジメント 場所:アクトシティ浜松コンgresセンター44 会議室/オンライン(Zoom)併用 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 様	12月17日	会場:9名 WEB:26名 29社 計35名	対象者:企業 関係者、研究 者、コーディネ ータ
はままつメディカル塾 第5回 医療機器の認可等の申請と不具合対応 場所:アクトシティ浜松コンgresセンター22+23 会議室/オンライン(Zoom) 併用 講師:浜松地域新産業創出会議アドバイザー(医工連携担当) 永田 靖 様	令和4年 2月18日	会場:6名 WEB:32名 30社 計38名	対象者:企業 関係者、研究 者、コーディネ ータ

14. 取材・報道状況

新聞・雑誌新聞 21件		
ぐいぐいストレッチの開発	令和3年7月31日	中日新聞
リハビリ器具共同開発	令和3年8月3日	静岡新聞
浜松医大と共同開発	令和3年8月28日	中日新聞
軽量くるま椅子の開発	令和3年9月20日	保健産業事報
オキシメーター共同開発	令和3年10月21日	静岡新聞
浜医と静大 統合再編延期	令和3年12月21日	中日新聞
先端医療センター完成	令和3年12月22日	中日新聞
先端医療拠点あす開設	令和4年1月3日	毎日新聞
産学人材 地域へ世界へ	令和4年1月5日	静岡新聞
浜松医大発ベンチャー製品第一号	令和4年1月14日	静岡新聞
浜松医大ベンチャー製造	令和4年1月14日	中日新聞
自閉症 薬の有効性確認	令和4年1月22日	静岡新聞
肥満者の気管支ぜんそく悪化	令和4年2月1日	静岡新聞
静大に文教融合新学部	令和4年2月2日	静岡新聞
静大に文教融合新学部	令和4年2月3日	中日新聞
静大に新学部開設を表明	令和4年2月4日	中日新聞
ADHD 症状	令和4年2月7日	中日新聞
静岡地区大学連携	令和4年2月13日	静岡新聞
抗原検査より高精度に	令和4年2月16日	静岡新聞
地域医療構想推進に向けて助言	令和4年2月27日	静岡新聞
抗原検査を高精度化	令和4年3月3日	中日新聞

15. 視察受入・面談

39 件		
WEB 技術相談	令和 3 年 4 月 9 日	浜医大皮膚科:H 先生、Y 社 浜松商工会議所:N 氏
面談	令和 3 年 4 月 15 日	イノベーション推進機構:S 氏、N 氏、T 氏
面談	令和 3 年 4 月 20 日	静岡県庁 産業部 M 理事他
面談	令和 3 年 4 月 20 日	静岡県産業振興財団 Y 氏
WEB 技術相談	令和 3 年 5 月 20 日	H 社:F 氏、Y 氏
WEB 面談	令和 3 年 5 月 24 日	JST:マッチングプランナー N 氏 S 氏 O 氏
面談	令和 3 年 5 月 24 日	浜松市役所 I 氏
WEB 面談	令和 3 年 6 月 3 日	日本医工研究所:K 氏 H 氏 M 氏
面談	令和 3 年 6 月 4 日	H 社
WEB 技術相談	令和 3 年 6 月 4 日	浜医大:皮膚科:H 先生 G 社 浜松商工会議所:N 氏
WEB 技術相談	令和 3 年 6 月 22 日	浜医大:皮膚科:H 先生 L 社 浜松商工会議所:N 氏
面談	令和 3 年 6 月 29 日	メディカル塾:N 氏
面談	令和 3 年 7 月 1 日	ファルマバレーセンター:K 氏 W 氏
面談	令和 3 年 7 月 12 日	M 社 W 社長他
面談	令和 3 年 8 月 3 日	浜松工業技術支援センター M センター長、M 研究統括他
面談	令和 3 年 8 月 6 日	静岡県産業振興財団 Y 氏
WEB 面談	令和 3 年 9 月 8 日	メディカル塾:N 氏
面談	令和 3 年 9 月 8 日	静岡県庁:I 氏
面談	令和 3 年 9 月 21 日	静岡県産業振興財団:K コーディネータ
WEB 技術相談	令和 3 年 9 月 28 日	R 社 (イノベ機構 K 氏からの依頼)
面談	令和 3 年 10 月 15 日	静岡県産業振興財団:K コーディネータ 浜松商工会議所: N 氏
面談	令和 3 年 10 月 19 日	大分県庁(東九州メディカルバレー)
Web 面談	令和 3 年 11 月 29 日	日本医工研究所:K 氏
面談	令和 3 年 12 月 16 日	H 社:Y 氏
面談	令和 4 年 1 月 5 日	フーズヘルスケアオープンイノベーションセンター
Web 面談	令和 4 年 1 月 11 日	H 社 浜医大
面談	令和 4 年 1 月 13 日	M 社
打合せ	令和 4 年 1 月 20 日	磐田商工会議所
Web 面談	令和 4 年 1 月 20 日	静岡県庁 I 氏
面談	令和 4 年 1 月 20 日	磐田商工会議所:M 氏
面談	令和 4 年 1 月 21 日	Y 社 浜松商工会議所:N 氏
面談	令和 4 年 1 月 31 日	イノベーション推進機構 理事長 専務理事
Web 技術相談	令和 4 年 2 月 2 日	企業 P 社
面談	令和 4 年 2 月 4 日	企業 P 社、K コーディネータ

面談	令和4年2月7日	企業 E 社、K コーディネータ
面談	令和4年2月7日	企業 G 社、K コーディネータ
打合せ	令和4年2月10日	聖隷福祉事業団 浜松リハビリテーション病院 G 社
面談	令和4年2月16日	企業 S 社、K コーディネータ
Web 面談	令和4年2月22日	企業 H 社

16. 受賞実績

賞名	テーマ	受賞者名	受賞日
第4回 静岡テックプラングランプリ 浜松いわた信用金庫賞	低侵襲微細手術が行える新型 立体内視鏡・外視鏡の開発	(株)はままつメディカル ソリューションズ (HaMS)	2021年7月24日

17. 他拠点との連携等

- ・ 信州・浜松拠点間交流会議 2021 in Hamamatsu
令和3年11月8日～9日 ホテルクラウンパレス浜松
- ・ 東九州メディカルバレー（大分県）来訪
令和3年10月19日 浜松医科大学 拠点棟

18. その他(拠点運営費による出張業務)

○木村拠点長出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和3年4月15日	Medtec Japan2021 において出展支援及び視察	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動
2	令和3年7月2日	医工連携拠点長挨拶、拠点事業説明と今後の連携	静岡商工会議所 (株)村上開明堂 共立電機(株) (株)テクノスルガ・ラボ	事業化活動
3	令和3年9月30日 ～10月1日	令和3年度スタートアップ支援事業フォローアップ 対象企業を訪問	(株)アメリオ 仲山貴金属鍍金(株) (有)コイケサイト	事業化活動
4	令和3年12月3日 ～4日	第34回内視鏡外科学会総会(医工連携出合いのサ ロン)出展支援およびブースツアー	神戸国際展示場 兵庫県神戸市	広報活動

○牧野事業総括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和3年4月15日 ～16日	Medtec Japan2021 において出展支援及び視察	東京ビッグサイト 東京都江東区	広報活動

2	令和3年9月30日 ～10月1日	令和3年度スタートアップ支援事業フォローアップ 対象企業を訪問	(株)アメリオ 仲山貴金属鍍金(株) (有)コイケサイト	事業化活動
3	令和3年12月2日 ～3日	第34回内視鏡外科学会総会(医工連携出会いのサ ロン)出展支援およびブースツアー	神戸国際展示場 兵庫県神戸市	広報活動

○山本研究統括出張業務

	日付	出張目的	出張先	出張目的
1	令和3年9月30日 ～10月1日	令和3年度スタートアップ支援事業フォローアップ 対象企業を訪問	(株)アメリオ 仲山貴金属鍍金(株) (有)コイケサイト	事業化活動
2	令和3年12月3日	第34回内視鏡外科学会総会(出会いのサロン)出展 支援およびブースツアー	神戸国際展示場 兵庫県神戸市	広報活動